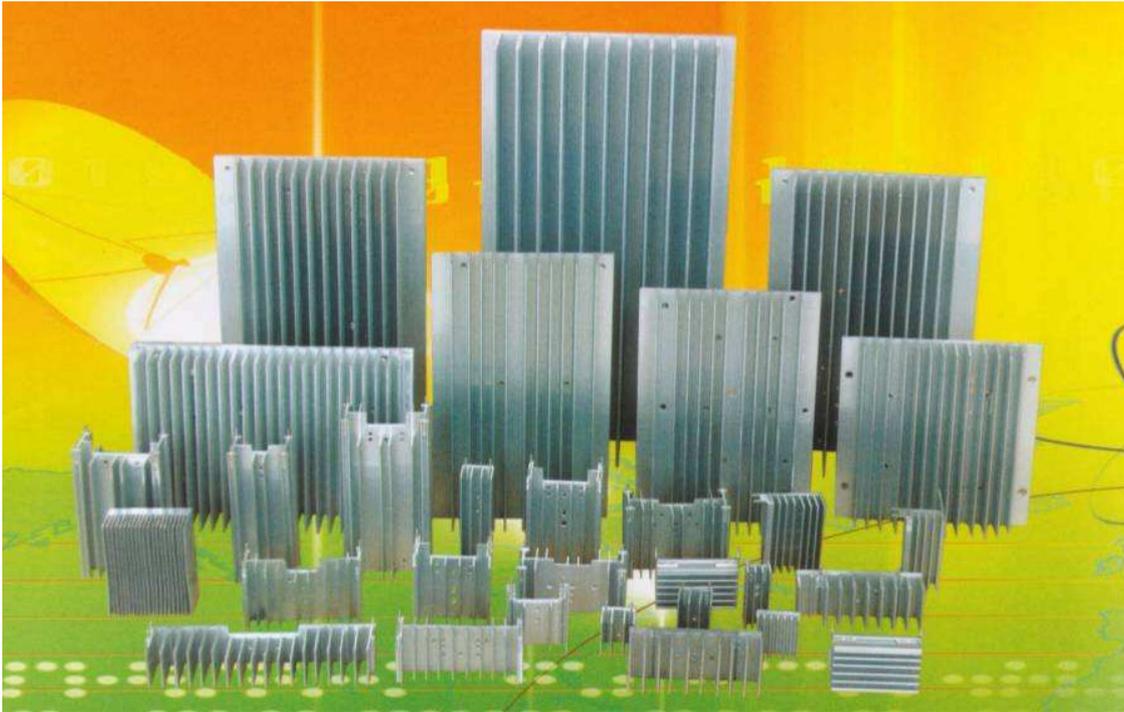


# ヒートシンク（放熱器）



## ヒートシンクとは

ヒートシンクまたは放熱器と呼ばれるものは、発熱する機械・電気部品に取り付けて熱の放散によって温度を下げることを目的にした部品である。

年々半導体素子のパワーレベルが向上し、部品密度が増加するにつれて、熱の問題が大きくなっています。半導素子の内部の熱を抑え、半導体メーカーの指定する安全な動作温度範囲まで下げる必要があります。

ヒートシンクは冷却するのに最も経済的でかつ実用的な部品です。

## 用途

小さいものはパソコンや電子機器の冷却、大きなものは電車やハイブリットカーのパワートランジスタなど、身近なところで使用されています。

## 材料

ヒートシンクは一般的にアルミニウムと銅が広く使用されています。銅の場合単位面積当たりの熱伝導度はアルミニウムの2倍ですが、比重は3倍もあり、アルミニウムと同等の熱的な仕事をするのには約2倍の費用がかかり、とても不経済です。そこで当社では経済的でかつ加工しやすいアルミニウム合金を使用し、主に6000系を採用しています。

弊社では非常に低価格、短納期で、アルミの押出型を製作して、試作から量産小～大口まで対応します。

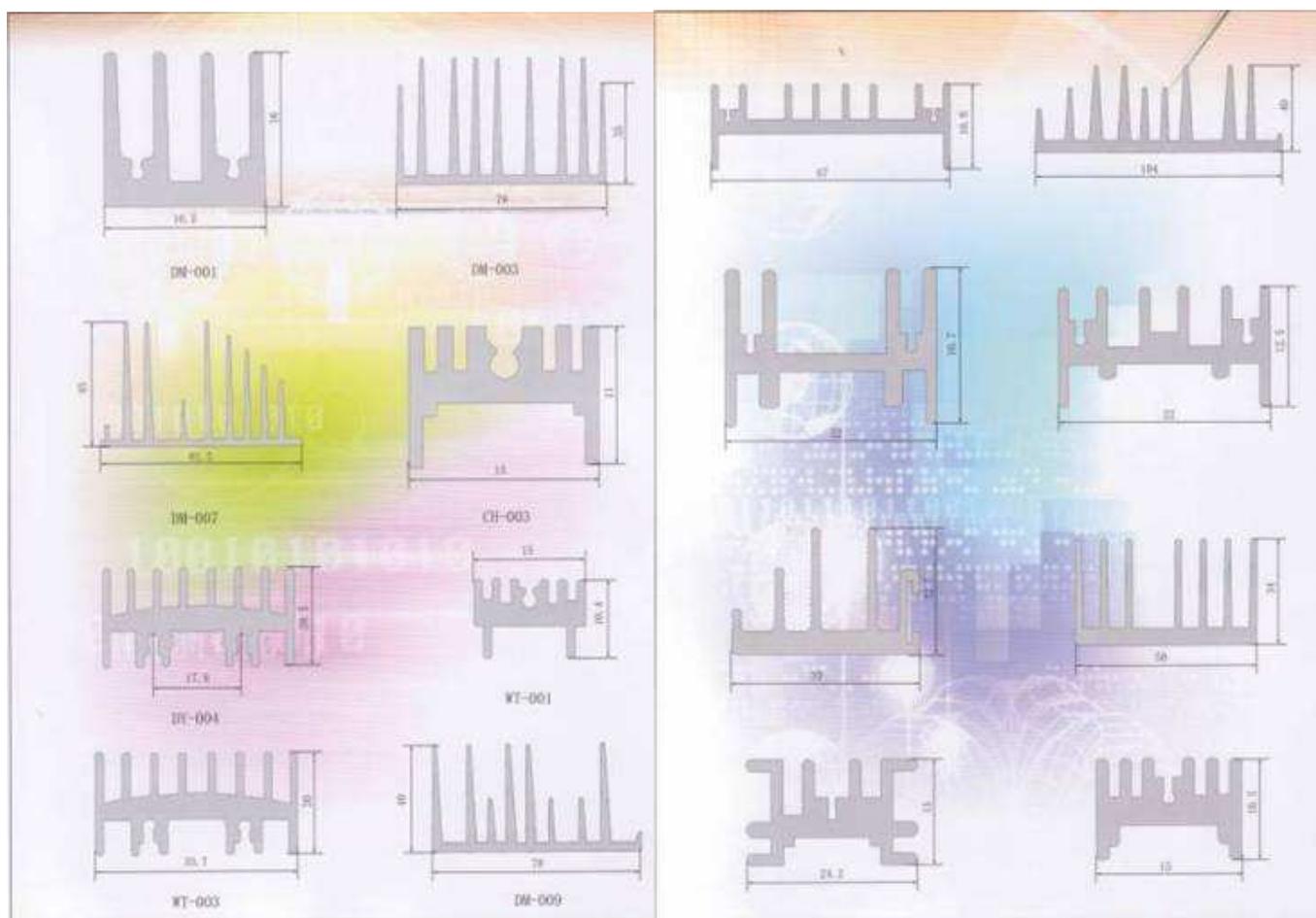
今ある型での製作、納品も行います。

## 生産現場



## 生産製品図面

下記図面は今生産しているほんの一部です。お探しの寸法等ありましたら、気軽にお問合せを願います。また新規金型作成も低価格で製作可能です。



三敬 株式会社

TEL : 042-587-8105

FAX : 042-587-8105

e-mail : ou@sankei-trade.co.jp